

令和5年度 探究活動中間発表会

令和五年度探究活動中間発表会において、科学研究領域の最優秀賞をいただくことができました。日々、研究方法に苦戦を強いられている中、このような賞をいただく事ができて大変光栄です。今後は、今回の発表を通して得られた課題を改善し、より良い研究を目指していきたいです。また、中間発表会をきっかけに二年生全員がさらにSSRの活動に力を入れ、一月の校内探究活動発表会が意義のあるものとなるよう、我が校の探究活動を盛り上げていきたいと思っております。



科学研究領域の最優秀賞



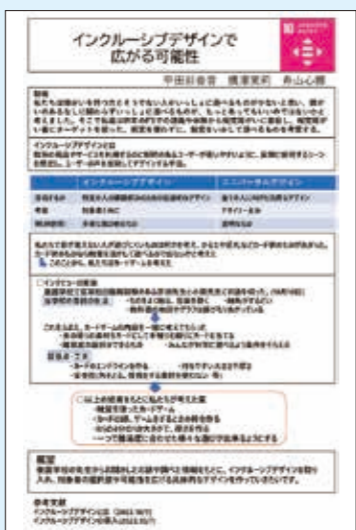
科学研究領域最優秀賞
バフテリアによるコンクリートの自己修復機能の比較検討
 二年二組 横山 夢人(高島中出身)

私たちは菌の代謝反応によって自然とひび割れを埋める、自己修復コンクリートについて研究を行っています。この度、私たちの班は

を遊ぶことで視覚障がいのある無に問わず、健常者と共に遊べるカードゲームの研究を進めています。視覚障がい者の理解を深めるため、米沢養護学校の先生に話を伺いました。そこで伺った視覚障がい者についての話やカードを作る際の留意点などを参考に、カードの大きさや使う素材、遊び方を検討し試作品を制作しています。今後の活動として、米沢養護学校の生徒の方々に試作品で実際に遊んでいただき、そこで出た感想や意見をもとに改良を重ねていく予定です。



健常者と共に遊べるカード



プロジェクト型領域最優秀賞
インクルーシブデザインで広がる可能性
 二年四組 舟山 心 柳(高島中出身)

明確なターゲットを設定して考える「インクルーシブデザイン」をご存知ですか？私たちは視覚障がい者をターゲットに、触覚

興讓館がトピ

Yonezawa Kojokan High School

令和5年12月22日発行
 第57号
山形県立米沢興讓館高等学校
 〒992-1443
 山形県米沢市大字笹野1101
 TEL 0238-38-4741
 FAX 0238-38-2531
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

受賞ポスター

QSD of the World

空気中の揮発DNAを用いた増殖菌生息域調査

Let's KENKETSU

Okitama Gender Innovation

合唱コンクール



最高の証
 二年一組 松木 昊明 (長井北中出身)

今年度の合唱コンクールは正直に言って、なかなか順調にはいきませんでした。私たちが歌った「言葉にすれば」は四部合唱の曲で、パート同士のまとまりが重要です。しかしながら、夏休み中はまとまった練習時間を作ることができず、パートによって完成度に差があるまま本番一週間前を迎えてしまいました。そこから全体で意識を改め、一日一日の練習を課題を明確にしながら徐々に一体感のある合唱を作っていくことができました。初めは合唱として成り立つのかすら怪しかった状況から最優秀賞を頂ける地点まで辿り着くことができたのは、まさにクラスの間や一体感が深まった証であったと思います。

興讓祭 theme/興星 theme song/青と夏/Mrs.GREEN APPLE

興讓祭完全復活
 三年二組 齋藤 誉生 (小国中出身)

八月二十五日、二十六日に興讓祭が行われました。今年度はコロナウイルスの影響による規制が緩和され、四年ぶりに時間制限の無い一般公開、三年生の模擬店が行われ、中庭は私が経験した三年間の興讓祭の中で最も活気溢れるものとなりました。また今年度の一般公開は保護者だけでなく、他校の生徒、OBOGの入場もでき、興讓祭完全復活となりました。

今年の興讓祭テーマは「興星」、生徒一人ひとりが輝けるようにという意味を込めました。興讓祭当日は期待通り、全校生がいつもとは異なる形で恒星のように輝き、興讓祭を盛り上げてくれました。高校生最後の文化祭を実行委員長という立場で成功させることができたことは私の誇りです。



全国大会等 出場報告

フェンシング部 インターハイ出場！

私は、八月に北海道室蘭市で行われたインターハイに個人と団体の三種目で出場してきました。昨年出場したインターハイでの悔しい結果をバネに、一年間練習を重ねさらに上の結果を残せるよう頑張ってきました。個人戦では、あと一点を取る事ができず、悔しさが残りましたが、緊張やプレッシャーを楽しみ、ベストを尽くすことができました。高校から始めたフェンシングで全国の舞台上立つことができ、大きな自信につながりました。最後にこれまで、ご指導いただいた先生方、保護者の皆様ありがとうございました。



陸上競技部 第28回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 七種競技 第1位



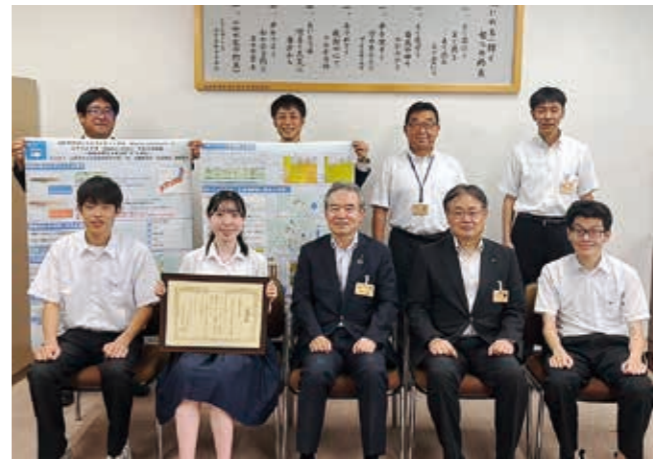
今回の東北新人では自己ベストを更新できた種目がほとんどなく満足いく結果ではありませんでした。また、他県の選手のレベルの高さを痛感した試合でもあり、来年への良い刺激が貰えたと思います。今回東北新人の舞台で優勝出来たのは家族や仲間、先生方の支えがあったこそだと感じました。反省点が多い大会でしたが、その分来年までに改善すべき点も見つけることが出来、今回の東北新人での経験を来年に繋げられるようにしたいです。冬季練習でも自分の課題改善に取り組み、来年はもっといい結果を残していきたいと思っています。

東北新人を終えて

二年一組 渡部 向日葵(高畠中出身)

SSH生徒研究発表会にて受賞 山形県庁に表敬訪問

私たちメダカ班はSSH生徒研究発表会において、生物A部門で第一位、代表校による全体発表で「審査委員長賞」を受賞した。それに際し、大変光栄なことに山形県庁を表敬訪問する運びとなった。高橋県教育長様をはじめ県庁職員の皆様、本研究の紆余曲折と県内初の受賞について報告した。全国大会や表敬訪問を通じて、野生メダカと本研究について1000名を超える方々にお伝えできたことは非常に感慨深い。そして今、後輩にバトンを託した。これで終わるわけにはいかない。研究手法や想いを確かに引き継ぎ、今後も野生メダカの今、を知られたい。



日本の野生メダカの今を伝える続けるために

三年一組 安齋 穂乃花(采沢四中出身)

高鍋高校交流



高鍋高生との出会い
十月十八日〜二十日に高鍋交流が行われました。今年が高鍋高生を米沢に招き置賜や米沢の自然や文化を紹介しました。高鍋高生と私たちには方言や言葉のイントネーション、育ってきた環境などたくさん異なる点がありました。しかし「相手を知りたい」という気持ちは互いに持っていたと思います。この気持ちがあったからこそすぐに打ち解けることができました。住んでいる場所や育った環境に違いはあれど、相手と同じ気持ちを持っていくことがとても嬉しかったです。今回の高鍋交流で米沢・置賜の魅力を見ることができました。これから人と人の出会いを大事にしていきたいです。

二年一組 千葉 美優(高畠中出身)

来年の全国高校総合文化祭へ〈ぎふ総文2024〉

新聞・文芸部 「好きなこと」の裏り
この度、私は県高校文芸コンクールに作品を応募し、とてもありがたいことに、今回私の作品が散文部門最優秀賞・県高総文祭賞に選ばれました。元々私は小説をはじめとする創作活動が好きで、今回応募した作品も、そんな私の趣味の範囲内にあるものでした。なので今回このような賞を受賞し、とても驚いたのと同時に、好きなことを評価されたという事実がとても嬉しく、今もその思いでいっぱいです。



美術部 困難を乗り越えて
今年是全国総文祭への出場を目標に作品制作に取り組んでいたのですが、県総文祭で特選をいただくことができ、全国への出場権を得られたことをとても嬉しく思います。締切直前は時間に追われ大変でしたが、部活以外の時間も使い、自分の納得のいくまで丁寧に制作に取り組みました。県総文祭では、普段は見ることのできない他の地域の人の作品に刺激を受けたり、他校の生徒や先生方から直接お話を聞くことができ、今後の課題などを見つけることができました。今回見つかった課題をこれから作品制作にもいかしていきたい、全国総文祭でも自分の力を出し切れるよう、精一杯制作に取り組みたいです。



二年五組 横澤 実莉(米沢一中出身)

第47回山形県高等学校文化祭(置賜大会)



10月13日(金)・14日(土)・15日(日) 入場無料

- 大会テーマ テーマ文字デザイン
- 二年 大木 菜生(米沢六中出身)
- 三年 丸子 健人(赤湯中出身)
- 二年 横澤 実莉(米沢二中出身)

十月十三日・十四日・十五日と行われた第四十七回山形県高等学校総合文化祭(置賜大会)は、興譲館生の考えたものが最優秀賞獲得、採用されました。